

事業番号	114
------	-----

平成24年度事業評価シート（平成23年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	廃棄物処分場管理運営事業			担当課	ごみ減量課	
事業期間	開始年度	～	終了予定年度	担当係	施設係	
総合計画	めざすまちの姿	4 自然と環境に配慮したきれいなまち				
	目標	② 資源循環型社会を構築する（リデュース・リユース・リサイクル）				
	成果指標		中間目標 (H27)		最終目標 (H32)	
予算区分	一般会計	4 款 衛生費 2 項 清掃費 1 目 塵芥処理費				
	細事業	144 廃棄物処分場管理運営費（一般管理事業、笠子処分場維持管理運営事業、チップリサイクル事業、笠子処分場地主・地元対策、新居一般廃棄物処分場維持管理運営事業、新居一般廃棄物処分場地元対策）				
位置づけ	関連計画	湖西市一般廃棄物処理基本計画、湖西市一般廃棄物処理実施計画				
	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、湖西市における廃棄物の減量及び適正処理に関する条例と規則				
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> その他					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他（					
対象（誰のため）	<input checked="" type="checkbox"/> 全市民 <input type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input type="checkbox"/> その他					
事業の目的（何のため）	笠子・新居廃棄物処分場（安定型・管理型2ヶ所）の埋立及び浸出水処理施設等の維持管理を行う。					
内容（概要）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設に要する重機車両等の維持管理を行う。</li> <li>・搬入されるごみの埋立管理を行う。</li> <li>・埋立処分場からの浸出水を法定基準値を遵守した浄化放流を行う。</li> <li>・水処理施設などの法定点検及び定期点検を行う。</li> <li>・搬入された剪定枝等のチップリサイクルを展開する。</li> </ul>					
これまでの改善・見直しの状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水処理施設の維持管理運転業務を委託から直営に変更を行った。</li> <li>・笠子処分場水処理施設の設備機能を改善し、使用薬剤の減量を図った。</li> </ul>					

2. コスト

（単位：千円）

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度事業費	
事業費	予算	77,230	64,585	74,388	(内訳)	
	決算	62,455	51,600		物件費	50,824
財源内訳	国庫支出金				補助費等	776
	県支出金				51,600	
	地方債					
	その他	26,347	5,400	9,498		
	一般財源	36,108	46,200	64,890		
職員人件費	22,302	23,194	24,746	人工	3.2 人	

### 3. 事業の評価

#### 事業の実施状況

活動指標	内容	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率	
	放流水法定及び自主基準値内遵守	目標		100	100	100	100%
		実績		100	100		
		目標					#DIV/0!
		実績					
	目標					#DIV/0!	
	実績						

平成23度 活動内容	廃棄物処分場浸出水処理施設適正管理					
実績・改善 課題・問題点 となった事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>水処理施設における設備機器類の経年使用により老朽化が進んでいる。</li> <li>笠子処分場水処理施設の水質COD値が高く、活性炭吸着塔の活性炭交換頻度が多い。</li> <li>笠子処分場水処理施設の処理薬剤使用量が多い。</li> </ul>					
どう対処したか	<ul style="list-style-type: none"> <li>水処理施設の調整池槽のクラク補修、ほか腐食破損部分などの改修及び取替を実施。</li> <li>笠子処分場水処理施設の水質COD値を低減するため、沈殿汚泥の再リターン方式を取入れ回転円盤内などの微生物量の活性化を図った。</li> <li>浸出水に相応した処理薬剤を検証し適正量を把握したことで、処理に係る分離、沈殿などに効果が上がり、水質の安定により活性炭及び使用薬剤量の削減が図れた。</li> </ul>					
改善点	水処理工程及び処理薬剤の変更など見直しを図った。 実績＝沈殿汚泥の再リターン方式の取入れ、水質にあった処理薬剤の使用及び適正量の把握。				効果額 H24-H23 (千円)	3,280千円

自己評価	事業目的の 達成状況	水質も安定し、処理薬剤も低減でき100%の達成率であった。				
	※必要性 事業を廃止・休 止したときの影 響	市町村における自治事務であることから最終処分場の確保が必要である。				
	判定	<b>A継続</b>	安全、安定維持管理を実施	事業主体	市	
	判定理由	施設の老朽化が進んでいるため、早期の対応、対策による維持管理を継続する。				
	今後の方向性	施設の長期延命化に伴い老朽化が進む設備機器類の設備改修による維持管理を行う。				